

2019年度韓国・祥明大学校 交換留学報告書

文学部 英語英米文学科 竹山陸斗

こんにちは。私は交換留学生として3月から12月までの10ヶ月、韓国の天安にある祥明大学校に在籍していました。韓国語を勉強して1年で交換留学を決意し韓国へと飛び立って行きました。大きく分けて前期と後期、全く違う生活をしたと実感しています。言語・文化の違い・人間関係などの様々な壁にぶつかりながらも、その全てが新鮮で、私の留学生生活をより一層有意義なものにしてくれました。祥明大学校に交換留学を考えている皆さんにとってこの報告書が少しでも参考になればと思います。

寄宿舎

私たち留学生は大学の敷地内にある寮で生活をします。旧館と新館の2つがあり旧館は女子、新館は男子・女子で分かれています。生活をしていく上で特に不便な点はありませんでしたが、キッチンが各部屋にもなく、共同キッチンも無いので食事はコンビニで買ってくるか、外で食べるしかありません。自炊はできませんでした。しかし、他の国の人と生活を共に出来る点ではとても良い経験になりました。ちなみに私のルームメイトは前期も後期も中国の子でした。中国の話の聞いたり、日本の事を教えたりと刺激的な日々でした。



ルームメイトの誕生日

交通面

最近物価が日本と同じだと言われている韓国ですが、交通費は日本より安く移動がしやすかったです。公共交通手段の、バス、タクシー、電車のどれをとって見ても良心的な価格です。ソウルから大学のある天安まではバスで1時間弱の距離ですが、片道630円（学生証提示で500円）で行くことができます。留学中に色々なところに足を運んでその土地の空気を感じるのも留学中のひとつの醍醐味です。交通費が安い分、行動に移すのも楽だと思うので、ぜひ色々な地域に足を運んでみてください。

授業

前期は留学生向けの授業 6 つ、日本語の授業を 1 つの計 7 つの授業を受講しました。留学生向けの授業は大きく分けて、韓国の歴史・文化などを学ぶ授業。文法・筆記・発話を中心とした韓国語運用の授業。大学の外に出て、文化体験・ボランティアを行う授業の 3 種類でした。私は韓国語を学んで 1 年目という事もあり教養や専門の授業にはついていけないと考えたので、留学生向けの授業を中心に時間割を作成しました。授業の内容は比較的簡単で、先生も気を遣ってくださり簡単な韓国語でゆっくり話してくれました。したがって韓国語がある程度できる方であれば留学生向けの授業は取らなくてもいいと思います。

日本語の授業は日本語を学ぶ学生に私も混ざり授業を聞きました。祥明大学校勤務の日本人の先生のすすめもあり、聴講することになりました。日本語を熱心に勉強するみんなの姿を見て私も韓国語の勉強に精を出さなければと強い刺激を受けました。また、日本語専攻の学生との授業なので日本に興味がある学生が多く、声をかけてもらう事があり、実際にそこで友達も出来ました。日本語の授業はちょっと…とと思っている人も日本語の授業ではなくても、日本に関する授業をとってみるのがいいと思います。

後期は留学生向けの授業 2 つ、教養の授業 2 つ、グローバル文学科の専攻科目 1 つの 5 つを聴講しました。後期は自分が興味のある授業をとるようにしました。中でも面白かったのが「演劇鑑賞法」という授業でした。教養の授業だったので先生の色々な学部 of 生徒と一緒に授業を受けました。前半は演劇の鑑賞法について学び後半は演劇を観にソウルに行ったり、祥明大学校の演劇学部の演劇を観に行ったりすることもありました。鑑賞をした後は授業でその演劇についてグループで話し合いながら、鑑賞法についての知識を深めていきました。この授業のおかげで演劇に対しての興味が湧きました。

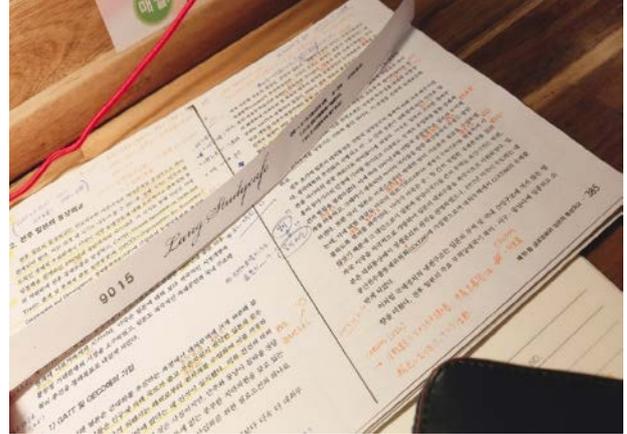


ソウルの恵化（ヘファ）で演劇鑑賞

試験期間

前期に2回、後期に2回の計4回ありました。試験期間は寮ではなく図書館に勉強をして行きました。図書館の地下に24時間開放されている閲覧室があるので、授業が終わったら寮に帰って、シャワーを浴び図書館で朝まで勉強をしました。夜中3時4時頃になるとお腹が空くので、友達と近くのコンビニに行ってラーメンを食べる習慣もできました。大学近くのコンビニでは試験期間になると学生を応援する一つのイベントでお弁当を買えばカップラーメンひとつ無料でサービスしてくれました。そんな文化にひとり心温まりました。勉強はとても大変でしたが、その中でも友達と励まし合いながら、お互い鼓舞しながら、全4回の試験を乗り越えました。

また、韓国では絶対評価ではなく、相対評価の為か、みんなの試験に対する熱の入れ方が違うように感じました。試験が近づくにつれて校内にいる学生の服装も変わるのも面白かったです。いつもはオシャレにしてくる人でも帽子にマスク、眼鏡、ジャージを着て試験に臨んでいて、そこからも勉強大国である韓国は確かにそう呼ばれる理由があるのだと改めて実感しました。



最後のテスト勉強



試験期間のコンビニ

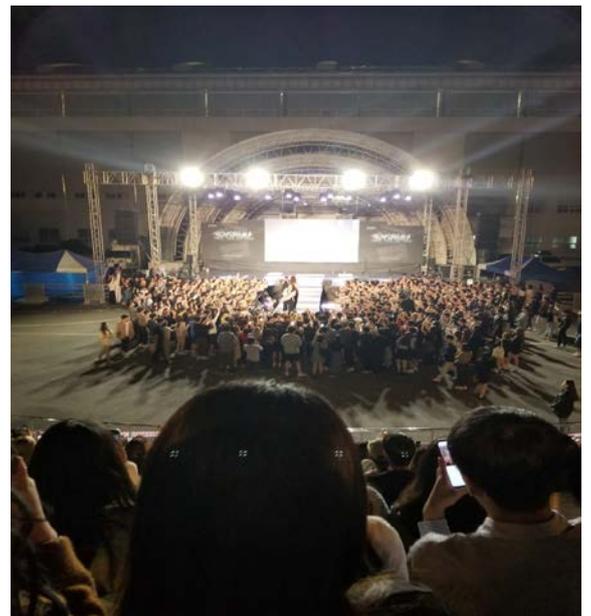
行事

前期の代表的な行事は3月後半に行われたMT（メンバーシップトレーニング）でした。学部別に行われる行事の一つで、同じ分班のみんなと親睦を深める為に行われます。私が参加した時は、バスで約1時間30分程かかる場所にあるペンションを借りて行われました。みんなゲームをしたり、外でバーベキューをしながらお酒を飲んだりして楽しく時間を過ごしました。MTではお酒を飲んでみんなと親睦を深めるのが主な目的なのでお酒がたくさん準備されます。学期が始まってすぐ訪れた韓国の学生と交流ができたMTは本当に有意義な時間でした。

後期の大きな行事の一つは学園祭でした。芸人や歌手を招待して公演を行ったり出店を出したり、フードトラックが来たりと行うことは日本の学園祭と似ていましたが、雰囲気は違いました。出店の前には簡易式のテーブルとイスが並べられており、そこで学生たちがお酒を飲みながら楽しんでいました。私も行ったのですが出店から流れる音楽と学生たちの声で友達と意思疎通を取るのがとても大変でした。それでも出店で楽しんで、歌手の公演を見られたのは私の記憶に深く刻まれています。



MT 集合写真



学園祭（公演）